

World Physiotherapy Congress 2023 in Dubai 次回は 東京



白土先生の参加報告

日本代表として参加させていただきました。貴重な機会をいただき関係の皆様がこの場を借りて御礼申し上げます。

World Physiotherapy Congressは、1953年に第1回がLondonで開催され、本大会で21回目です。

私は、初日13時からIFPOHE 主催 **Working together meeting 【What it is like working in Japan】**にて、日本の産業理学療法の実情を紹介させていただきました。

Topics

- ① 2023年6月2日-4日 **World Physiotherapy Congress 2023** がアラブ首長国連邦にて開催。
- ② 2023年5月IFPOHE（世界産業保健理学療法士連盟）の Executive Committeeに初日本人として研究会会員の白土大成氏が就任。
- ③ 国際委員会は日本の産業理学療法の情報発信や海外情報の収集などを実施。2024年には当研究会会員が参加できる「第1回国際交流会」を企画。（参加者募集は2023年年末に開始予定）



具体的に、

- ① 日本の人口および高齢化率の現状と予測
- ② 日本理学療法士協会の沿革と現状 *1
- ③ 日本理学療法学会連合の紹介と会員の主たる所属先 *2
- ④ 産業保健における理学療法の目標と行動計画
- ⑤ 研究紹介 について、オランダ、オーストラリア、イギリス、ギリシャ、UAE、日本の参加者と情報を共有しました。日本の理学療法士の9割以上が病院あるいは施設にて勤務していることについて、各国から驚きのリアクションをいただいたことが新鮮でした。ダイレクトアクセスや開業権の有無や産業保健領域における職域の充実度の違いなどがその背景としてあるように思います。

参考 *1 : <https://www.japanpt.or.jp/english/>

*2 : <https://en-jspt.japanpt.or.jp/>



《続き》

一般演題の発表形式としては、口述発表、eポスター発表、Printedポスター発表の3パターンがありました。



多くの日本人参加者が海外の参加者と同じように、口頭で発表、ディスカッションを積極的に行っていることが大変刺激的でした。



産業理学療法領域においては、IOPTMH (世界メンタルヘルス理学療法士連盟) と合同のセミナーとして、**【Burnout Amongst Physiotherapists】**という重要なテーマの講演がありました。その中でベルギーの **Davy Vancampfort** 先生がメンタルヘルスの維持改善に推奨されていた **SETTLES** について紹介します。

「**S**tay turned in with yourself. **E**ngage and stay connected to friends, family, and support networks. **T**houghts are just thoughts, not facts. **T**reat yourself with kindness. **L**imit activities that are unhelpful or even. **E**xercise is key, focus on good sleep as well. **S**ee help, if you are concerned about yourself talk to your supervisor, colleagues, friends, and family.」



メンタルヘルスの観点からもつながりは重要です。本学会を通して、国内からの参加者と国内で会うよりも親密になれる機会だと実感しました。



閉会式では、次回大会のアナウンスがありました。皆様ご存知の通り、**World Physiotherapy Congress 2025 in Tokyo** です。会期は、2025年5月29日-31日となっています。ぜひご参加ください。

